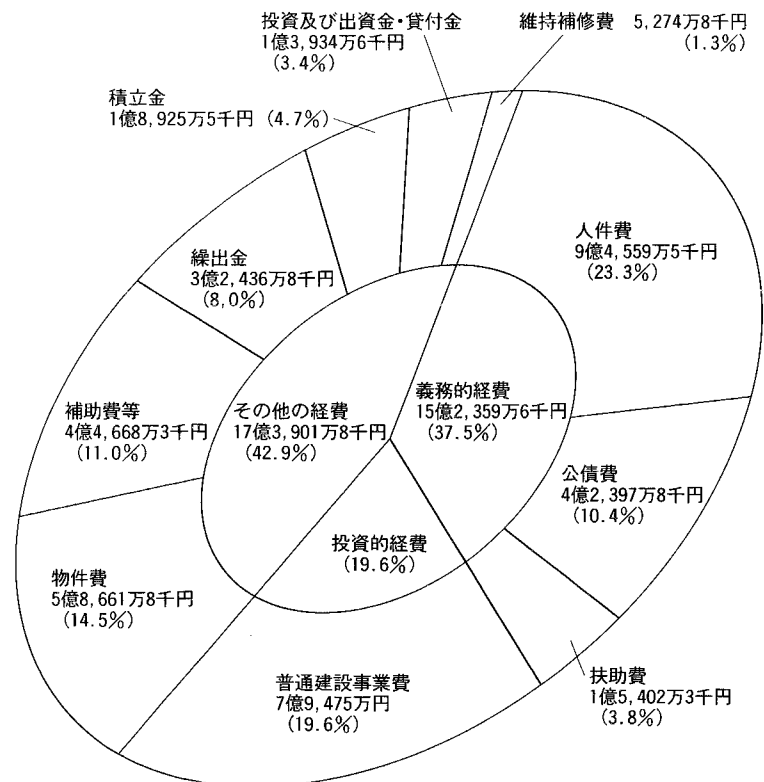


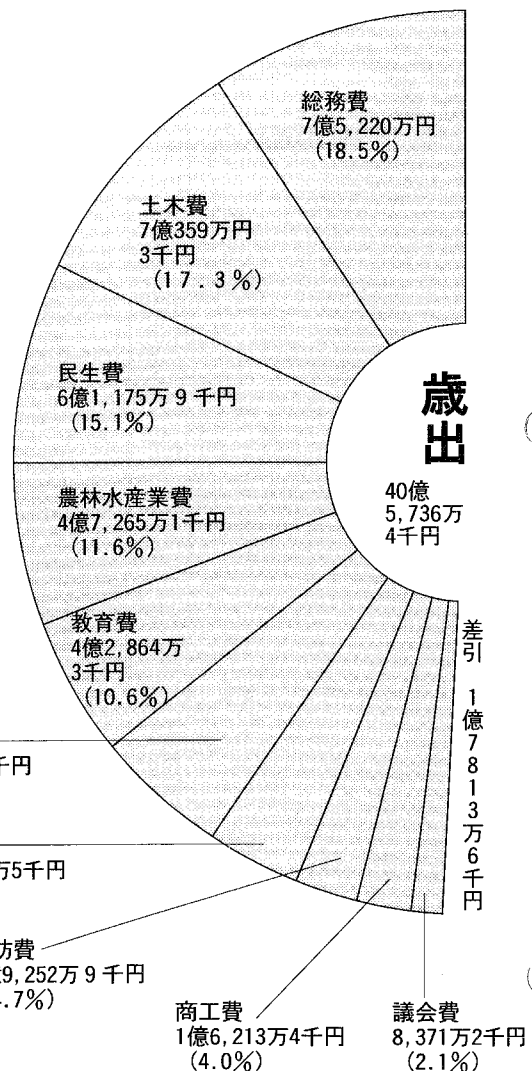
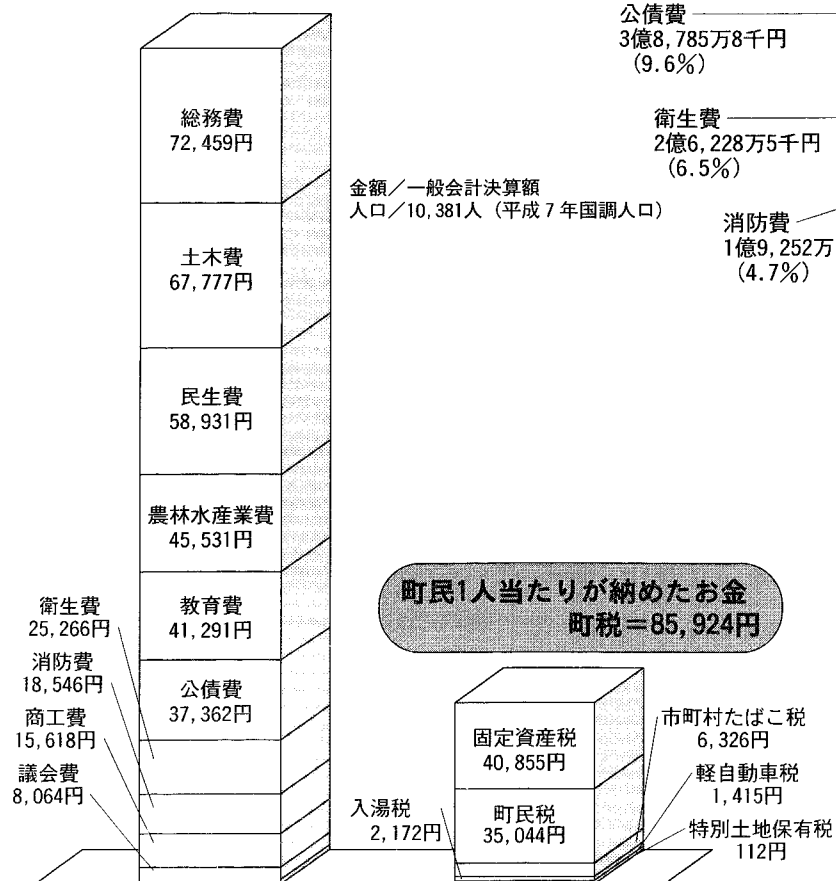
平成8年度 一般会計



一般会計歳出の性質別内訳

()内は構成比

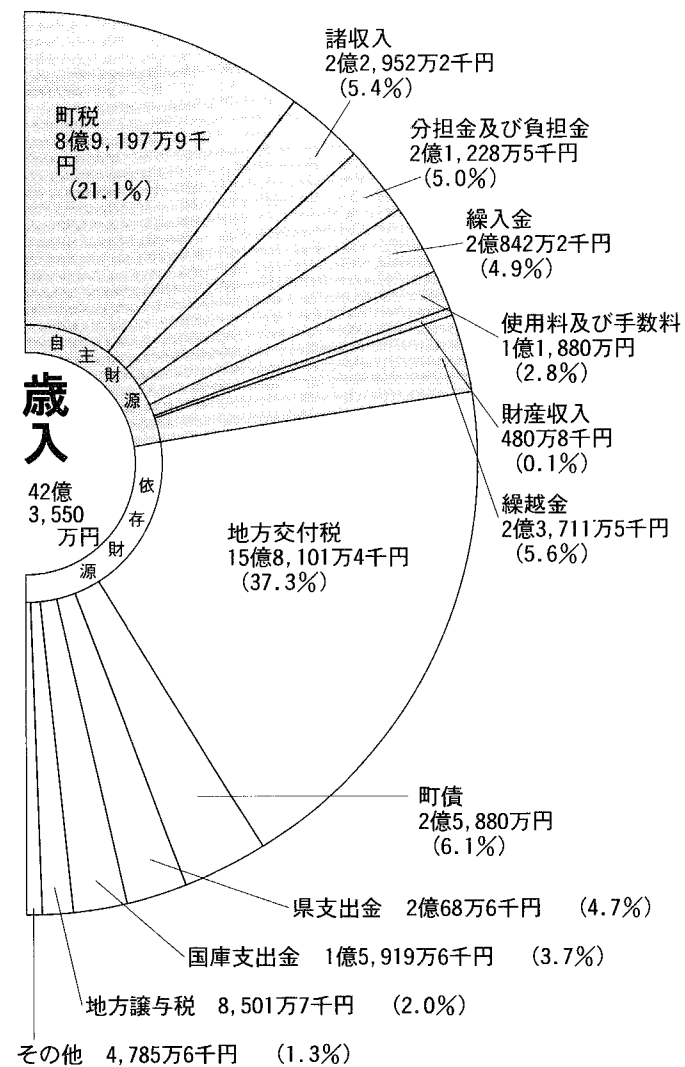
町民1人当たり
使ったお金—390,845円



主な建設事業費 (千円)

(総務部門)	
温泉センター増築工事費	67,044
(民生部門)	
矢代田保育園等改良工事費	1,272
(農林水産業費)	
農村総合設備モデル事業工事費	65,974
新津郷土地改良区事業費	10,561
国営新津郷土地改良事業費	203,359
農道補修改善工事費	15,688
林道開設・舗装工事費	29,011
林地崩壊防止工事	2,356

決算報告



(土木費)	
小向矢代田1号線道路改良工事費	7,752
その他町道改良工事費	32,416
水路設備工事	24,988
大川前住宅建設工事費	79,319
河川敷公園設備工事費	92,090
大沢公園設備工事費	39,740
消雪施設工事費	34,995
(消防費)	
防火水槽工事費	

平成8年度の町の一般会計および国民健康保険・老人保健・下水道事業の各特別会計が、12月定例議会でそれぞれ認定されました。

一般会計は歳入42億3550万円、歳出40億5736万4千円となり、歳入歳出差引は1億781万3千6百円の黒字となりました。

自主財源の乏しい中、国からの交付税等に依存するといった厳しい財政事情ではありますが、「明るく生き生きとした活力ある町づくり、きめ細やかな福祉のある町づくり」を基本に、財源の重点的かつ効率的な配分を行い財政の健全化につとめました。

歳入では町道17号線の完成による地方債の借入れの減少、農村総合モデル事業の完了による県支出金の減少の一方、人口増による交付税の増、温泉センター入館者・デイサービスセンター利用者による使用料収入の増により全体で0.2%の微増となりました。

歳出では町道17号線の完成により土木費、及び災害普及費が減少した反面、温泉センターの増築工事による総務費の増、白根衛生センター負担金の増による衛生費の増などにより全体で1.7%の増となりました。

●町有財産の状況 (平成8年度末残高)

基金	10億741万9千円
有価証券	20万円
出資金	1,972万円
土地	27万6,824平方メートル
(うち土地開発基金)	2万7,195平方メートル
建物	4万2,430平方メートル

●町債の状況

一般会計起債残高 29億5,167万6千円